

株式会社アラタナ
(立命館大学産学協同アントレプレナー教育フォーラム 2013 講演より)

立命館大学経営学部
桐畑哲也

目次

I	すごい草野球！？	3
II	株式会社アラタナ	4
III	事業及び組織	4
1	事業領域	4
2	主力事業	5
3	経営陣及び組織体制	6
	(1)経営陣	6
	(2)組織体制	6
IV	新規事業開発、地域密着事業と資本政策	7
1	創業期-CAGOLAB.、みやざき便.COMと首都圏での新規顧客開拓-	7
2	成長期—ソーシャルコマースにおける新事業開拓とECサイト事業への参入—	8
V	経営理念としての地域における雇用創出	10
1	事業拠点	10
2	雇用拡大	10

I すごい草野球！？

「宮崎県は、プロ野球のキャンプが盛ん。キャンプでは、毎年3万人もの観光客がくるんだぞ。」
「事業名は、『すごい草野球』でどうだ！」

株式会社アラタナ(以下、アラタナと略す)の取締役営業本部長である山本稔(敬称略)と新規事業開発室の守屋将邦(敬称略)が、新しい事業について議論していた。山本と守屋は、自他ともに認める野球小僧であった。

2人の議論のきっかけは、テレビのニュース番組である。徳島県阿南町では、行政が観光の目玉として草野球を支援し、県外から野球好きを呼び込もうと取り組んでいる。2人は、この行政の取り組みを、民間企業が、新規事業として行おうというのである。

「アラタナが中心となって、『すごい草野球』を主催し、宮崎のことをもっと知ってもらおう」
山本は、事業計画を携え、取締役会で提案した。

「ところで、収支はどうなの？」社長の濱渦伸次(敬称略)が笑みを浮かべて尋ねた。

「最低限の赤字にとどめますので・・・・」山本が答えた。

「地域貢献も、わが社の経営理念だよな」濱渦が応じた。

アラタナの新規事業「すごい野球」は、取締役会で、全会一致で実施が決まった。この時、アラタナは、創業から5年、平均年齢29歳の若い会社である。ビジネスも、地域のことも、なんでも新しいことに挑戦しようという気持ちが、みなぎっていた……。

II 株式会社アラタナ

アラタナは、2007年5月1日、濱渦が、学生時代の同級生であり、同社専務取締役の穂満一成(敬称略)と共同で、宮崎市に設立した企業である(図表1参照)。「ネットショップの『今』と『未来』をアツくする」を企業理念に、「宮崎に1000人の雇用をつくる」を経営理念として、電子商取引(Electric Commerce: 以下、ECと略す)¹を事業領域とし、ネットショップ制作、運営代行、撮影代行、ネットショップ関連アプリケーション提供を行うベンチャーである。創業当初からの「宮崎に1000人の雇用をつくる」との経営理念について、濱渦は、「ボランティアや地域貢献が第一の目的ではない。自分たちが面白いと思うサービスを創り、世界にインパクトを与えることで、結果として雇用が生まれ、最終的に地域貢献につながるということを目指す(立命館大学産学協同アントレプレナー教育フォーラム2013講演より)」と説明する。

III 事業及び組織

1 事業領域

図表2は、我が国のビジネストウコンシューマー(Business to Consumer : 以下、BtoCと略す)EC市場規模の推移を示している²。それによると、アラタナ創業翌年の2008年は、6兆890億円、2009年、6兆6969億円、2010年、7兆7880億円、2011年、8兆4590億円、2012年には、9兆5130億円に達する。2008年から、2012年の4年間で、56%という伸びを示す。また、経済産業省編(2013)によると、広義のビジネストウビジネス(Business to Business : 以下、BtoBと略す)EC市場規模は、2012年で、262兆540億円に上るとされる³。アラタナの事業領域であるEC市場は、

1 経済産業省編(2013)は、電子商取引(Electric Commerce : 以下、ECと略す)について「受発注がコンピューターネットワークシステム上で行われることを要件としている。したがって、見積のみがコンピューターネットワークシステム上で行われ、受発注指示が人による口頭、書面、電話、FAX等を介して行われるような取引は、(中略)ECに含めない。また、Eメール(またはその添付ファイル)による受発注のうち、定型フォーマットによらないものは、ECに含めない」とする。

2 経済産業省編(2013)は、ビジネストウコンシューマー(Business to Consumer : 以下、BtoCと略す)EC市場について「企業と消費者間でのECによる取引金額とする。ここでの消費者への販売とは家計が費用を負担するものを指し、消費財であっても個人事業者の事業用途の物品購入は原則として含めない」とする。

3 経済産業省編(2013)は、ビジネストウビジネス(Business to Business : 以下、BtoBと略す)EC市場について「企業間または企業と政府(中央官庁及び地方公共団体)間で、狭義または広義のECを利用して受発注を行った財・サービスの取引金額」と定義する。その上で、狭義のBtoB-ECについて、「『インターネット技術を用いたコンピューターネットワークシステム』を介して商取引が行われ、かつその成約金額が捕捉されるもの。ここでの商取引とは「経済主体間で財の商業的移転に関わる受発注者間の物品、サービス、情報、金銭の交換」をいう。『インターネット技術』とはTCP/IPプロトコルを利用した技術を指しており、公衆回線上のインターネットの他、エクストラネット、インターネットVPN、IP-VPN等が含まれる」、また、広義のBtoB-ECについて「狭

巨大、且つ、成長ポテンシャルの高い市場である。

2 主力事業

アラタナは、「EC の環境・メディアの変化」及び「未来を見据えたサービスの展開」の2つの軸で、自らの事業を分類する(図表 3 参照)。「未来を見据えたサービスの展開」は、「今の課題を解決してネットショップの成功を支える」とのレベルから、「未来に先回りして、将来的な変化を顧客のチャンスに繋げる」とのレベルまで、顧客の現状及び潜在的ニーズに応じて、技術とサービスを提供するとしている。

顧客の「現状の課題を根本的に解決する事業」としては、「CAGOLAB.」事業がある。「CAGOLAB.」事業は、ネットショップのデザイン・システム構築、運用、SEO(Search Engine Optimization : 以下 SEO と略す)対策等、ワンストップでサポートするサービスで、海外ブランドや大手食品メーカーの直販サイト等、800 サイトを超える構築実績を有する⁴。「CAGOLAB.」事業は、ネットショップの成長に合わせてカスタマイズができる拡張性、ネットショップのロコミを促進するソーシャル機能、新しいデバイスへの対応等が特徴とされ⁵、アラタナの主力事業となっている。

「SketchPage」事業は、顧客の「サイト制作の課題を解決する」事業として位置づけられ、ネットショップ運営に必要な、商品ページ作成・バナー作成等のデザイン業務を、簡単に作成できるツールで、2000 社の使用実績⁶を有する、アラタナにおいて「CAGOLAB.」事業に次ぐ事業規模となっている⁷。

ソーシャルコマース(Social Commerce)⁸領域において、「ソーシャルの運営を模索する」事業とされるのが、「Zeeble」事業である。「Zeeble」事業は、Facebook マーケティング支援プラットフォームで、投稿、解析、ページ作成、キャンペーンという、Facebook を運営するにあたり、担

義のBtoB - ECに加えて、VAN・専用回線、TCP/IP プロトコルを利用していない従来型 ED が含まれる」としている。

4 2013 年 9 月現在。

5 「CAGOLAB.」事業ホームページ (<http://www.cagolab.jp/>) を参照。

6 2013 年 9 月現在。

7 「SketchPage」事業ホームページ(<http://sketchpage.jp/>)を参照。

8 ソーシャルコマース(Social Commerce)について、経済産業省(2013)は「広義には商取引の一連の流れの中でソーシャルメディアを活用することを指し、狭義にはソーシャルメディア上で EC を行うことを指す場合もある。例えば、Facebook 上で決済まで行う「F コマース」と呼ばれるような仕組みである」とした上で、ソーシャルコマースのもたらす効果として、「ソーシャルメディアの機能を通じて、より認知・興味が促進されること、よりの確な比較・検討が可能となること、またその場ですぐに購入まで行えること、つまり購買プロセスの加速化が考えられる。消費者にとっては、より自分の嗜好に合致したものを手に入れやすくなるために購買満足度が向上し、事業者にとっては販売機会が増大することが期待される」と指摘する。

当事者が日々行う仕事をサポートするツールである。複数の仕事をひとつの管理画面から集中的に行うことができる点が特徴とされる⁹。

3 経営陣及び組織体制

(1)経営陣

アラタナ社長の濱渦伸次は、昭和 58 年 7 月 21 日生れ、宮崎県宮崎市出身で、2004 年 3 月、国立都城工業高等専門学校電気工学科卒業し、同年 4 月株式会社リコーに入社している。しかし、3 ヶ月後に退職、故郷である宮崎に戻り、カフェ・バーを開業するが半年で倒産した経歴を持つ。倒産後は、借金を返済するために、WEB の制作やカメラマン、アパレルショップのアルバイト等の仕事を兼務した。借金を返済し終えた 2007 年に、現在のアラタナを設立するに至る。特に、「前職でアパレルショップの店員として、ネットショップを任されていたというのが、アラタナ創業につながった(立命館大学産学協同アントレプレナー教育フォーラム 2013 講演より)」という。

濱渦によると、「カフェ・バーの経営は、事務所、店舗等に過大なコストをかける等、失敗すべくしての失敗であった。ただ、この経験が、アラタナの経営に生きている(立命館大学産学協同アントレプレナー教育フォーラム 2013 講演より)」という。また、「子供のころから、事業を考えることに関心が高く、高専時代には、インターネットを活用して、宮崎の地酒を販売したりした(立命館大学産学協同アントレプレナー教育フォーラム 2013 講演より)」という。

専務取締役の穂満一成は、最高技術責任者は、昭和 58 年 4 月 6 日生れ、宮崎県都城市出身で、濱渦と同じく、2004 年 3 月、国立都城工業高等専門学校電気工学科卒業した。同年、株式会社システムナインに入社、システム部に配属され、主に WEB サイト制作、サーバー構築、システム設計等に携わった。酪農の納乳システム構築、ガス料金入金確認システムサーバーの管理、メルマガシステム構築、屋外大型テレビ、屋内大型テレビ、屋内プラズマディスプレイと映像送出システムとの表示連携のシステム制御、EDIUS による動画編集等、幅広い業務を担当した。2007 年、株式会社システムナインを退社し、株式会社アラタナの設立に参画している。

(2)組織体制

株式会社アラタナは、社員 81 人、アルバイト 4 人(週労働時間 20 時間以上 1 名、30 時間以上 4 人)、契約社員 4 人(全員 30 時間以上)の 89 人、取締役 4 人、執行役員 2 人、課長級 10 人、係長級 7 人との構成となっている¹⁰。男女比では、男性 62 人、女性 32 人、外国国籍の社員が、2 名

9 「Zeeble」事業ホームページ(<http://www.zeeble.biz/>)を参照。

10 2013 年 9 月末、現在

在籍している(株式会社アラタナ編, 2013A)¹¹。中途採用が多い傾向にある IT 業界の中でアラタナでは、毎年 5 から 6 名程の新卒者を採用するなど、新卒採用に力を入れている。

株式会社アラタナは、代表取締役の濱渦をトップに、専務取締役の穂満一成、取締役の山本稔、井上宗寛(敬称略)、松野真一(敬称略)の専務 1 人、取締役 4 人の経営陣のもと、「管理本部」「営業本部」「サポート部」「サービス開発部」「インフラ」「新規事業開発」の 6 部体制となっている。管理部門については、事業規模の増加に伴い、体制を強化し、公認会計士の資格を持つ人材を採用する等、財務戦略や人事制度のブラッシュアップ急ぐ。また、サービス開発部の責任者には、創業メンバーの穂満を配置すると共に、新規事業開発の責任者は、濱渦が自ら担当する等、新規事業開発に特に注力している(株式会社アラタナ編, 2013B)。

IV 新規事業開発、地域密着事業と資本政策

1 創業期-CAGOLAB., みやざき便.com と首都圏での新規顧客開拓-

濱渦が、自宅兼にオフィスで創業して 3 か月後の 2007 年 7 月、現在の主力事業である「CAGOLAB.」のプレ提供を行った。「CAGOLAB.」事業は、ネットショップ構築パッケージで、スタート当初は、宮崎市内の顧客を主な対象としていた。翌月の 8 月、オープンソースの EC 向けコンテンツマネジメントシステムである EC-CUBE¹²をベースに「CAGOLAB.」を正式リリースした。初期費用は 0 円、月額 3 プラン (5800 円, 9800 円, 15800 円+ロイヤリティ) というシンプルな価格構成とした。また、「CAGOLAB.」を正式リリースと同時に、当時としては、最安値の 1 カット 315 円という撮影代行サービスを提供した(株式会社アラタナ編, 2013C)。翌年の 2008 年 1 月には、ネットショップ運営代行、ネットショップ関連アプリケーション提供などの事業を開始し、ネットショップのデザイン・システム構築だけにとどまらず、例えば、アパレル関連等の顧客向けに、自前のスタジオ、モデル等準備し、商品試着の写真撮影を行う等の事業にも力を入れた。このネットショップのデザイン、システム構築、運用支援は、濱渦の前職でのネットショップ運営アルバイトでの経験をベースとして、当初は、手さぐりの事業スタートであったという(立命館大学産学協同アントレプレナー教育フォーラム 2013 講演より)。濱渦によると、「CAGOLAB.」事業は、景気動向に左右されずコンスタントに月 20 程度の新規顧客を獲得し続けており、現在、売り上げの 70%程度を占める主力事業に成長した。2008 年 6 月には、バージョン 2、同年 10 月には、東京ビックサイトの IT Pro EXPO に出展した他、2009 年 7 月には、バージョン 3 をリリースした他、2011 年には、スマートフォンに対応、2013 年 7 月には、バージョン 4 をリリースさせる等、バージョンアップ及び新たなデバイスへの対応にも力を入れている。

主力事業である「CAGOLAB.」事業の傍ら、アラタナは、様々な新事業の取り組みを行う。

11 2013 年 9 月末、現在

12 株式会社ロックオンが開発運営。EC-CUBE のホームページ(<http://www.ec-cube.net/>)参照。

2008年2月には、有限会社セルグッズ、有限会社枝元商店、有限会社川野海産と共同で、合同会社みやざき便.comを設立し、4社が、本当に良いと感じた宮崎の味だけを取扱い、全国の顧客に宅配する事業である。合同会社みやざき便.comによると、「みやざき便.comは、ネット通販で販路を拡大する事を目的としていません。大幅な値引きや価格競争は行わず、宮崎の生産者を守り、安全で高品質な"食"を作る—これが私達の使命です。また、宮崎の味を知ってもらうことで、宮崎という地、文化に興味をもってもらいたいという想いがあります。温暖な気候、自然、人…みやざき便を通じて、より多くの皆様に"宮崎ファン"になってもらう事が、私共のこの上ない喜びなのです。」としている¹³。アラタナの「宮崎に1000人の雇用をつくる」を経営理念が、創業初期段階の事業展開からも伺える。

また、2008年10月には、「CAGOLAB.」事業の顧客はもとより、より幅広くEC向けオープンソースであるEC-CUBEを普及させること等を目的として、EC-CUBEの学校を開校すると共に、同社自身が、EC-CUBEのインテグレートパートナー制度で、プラチナパートナーに認定された¹⁴

アラタナは、新規顧客の開拓にも力を入れる。2007年12月の1,000万円への資本増強、2010年2月の3,000万円への資本増強に続き、2010年7月には、チャレンジ九州・中小企業ががんばれファンドを引受先として、3,150万円の第三者割当増資を受け、首都圏における新規事務所設置等、首都圏の顧客基盤強化を図った。2010年10月、東京事務所を開設し、濱渦自ら、東京と宮崎を頻繁に行き来する等、顧客開拓に注力した。しかし、開設から2年経過した2012年12月には、首都圏の顧客開拓の拠点となっていた東京事務所を完全に閉鎖する。濱渦によると、アラタナのビジネスモデルにおいて、首都圏に営業拠点を置く必要がないことが分かったためという。

2 成長期—ソーシャルコマースにおける新事業開拓とECサイト事業への参入—

ECにおけるソーシャルコマースの将来性を見据え、Facebook等ソーシャルコマース関連のビジネスにも注力する。2011年3月には、Social Ad & Commerce Technology Fund、みやざき太陽チャレンジファンド、GMO ペイメントゲートウェイを引受先とした総額6,195万円の第三者割当増資を行う。増資に先立つ2010年12月には、国内で初のリリースとなるFacebook等ソーシャルネットワーク上でネットショップを開設できるアプリケーションソフト「SocilaGateWay」サービスの提供を開始した。翌月の2011年1月には、「SocialGateWay」アプリのフリー版とプロ版のサービス提供を開始した。同6月には、Facebook内で完結するバージョンを公開、さらに、8月には、Mixi対応版の提供を開始した。しかし、国内初の取り組みであった「SocilaGateWay」事業は、結果的に縮小することとなった。これについて、濱渦は「Facebook内のネットショップ等の需要が予想に反して伸び悩んだため」と理由を説明する。新規事業への取り組みは、濱渦自身

13 合同会社みやざき便. com(<http://www.miyazakibin.com/company.html>)を参照。

14 EC-CUBEの学校のホームページ(<http://www.eccube-school.jp>)を参照。

が、責任者として進めており、「予想通りにいかないことは、新規事業につきもの。これがベンチャーの事業で、失敗を次につなげることが重要」と述べる。「SocilaGateWay」事業における経験をもとに、2012年6月には、Facebook マーケティング支援プラットフォーム「Zeeble」サービスの提供を開始した。

「CAGOLAB.」事業に次ぐ新規事業を模索する中で、この時期、現在「CAGOLAB.」事業に次ぐ主力事業に成長している「SketchPage」事業をスタートさせている。「SketchPage」は、ネットショップ運営に必要な、商品ページ作成・バナー作成等のデザイン業務を簡単に作成できるツールである。2011年6月に、ベータ版サービスの提供を開始、2012年4月より、楽天及びYahoo など主要EC モール向けパッケージ提供を開始した。瀧岡によると、「SketchPage」の顧客は、2013年4月には1000店、2013年9月末では、2,000店を超えるという。

この時期、2011年10月には、新オフィスが完成し、移転すると共に、同年12月には、福岡事務所、アラタナ研究所を開設した。2012年3月には、ベンチャーキャピタル、ジャフコを引受先とした1億円の第三者割当増資を実施し、業務の拡大を図った。

2013年9月には、総額5億円を超える増資に踏み切る(株式会社アラタナ、2013D)。その目的は、ECサイト事業へ参入するためである。ECサイト事業参入に際しては、2013年10月、情報発信、スタイル提案型ウェブサイト「honeyee.com」及び「.fatale」の企画運営を手掛ける株式会社ハニカム¹⁵をグループ化し、メディア×eコマース事業を念頭に、ECサイトとメディアとの融合を図ることで、既存のECサイトとの差別化を図る方針である。

リブセンスからの投資2,000万円をはじめ、既存株主である株式会社ジャフコ(ジャフコ・スーパーV3 共有投資事業有限責任組合)、みずほキャピタル株式会社(みずほキャピタル第3号投資事業有限責任組合)、GMO VenturePartners 株式会社(Social Ad & Commerce Technology ファンド投資事業組合)、及び、株式会社NTT ドコモ・ベンチャーズ(ドコモ・イノベーションファンド投資事業組合)から総額5億4,992万円というこれまでに最大の資金調達である。

また、同年、2013年10月には、地元活性化に向けた取組み草野球イベント企画開催サービスである「すごい草野球」を始めた¹⁶。「すごい草野球」プロジェクトは、「野球が好きなメンバーとランチを一緒にしながらの冗談から始まったプロジェクト」といい、アラタナが本社を置く宮崎県は、「プロ野球球団をはじめ、WBCキャンプ地にも利用されるほどの環境の良さが売りで、キャンプシーズンには毎年3万人以上の観光客が訪れる。そんなスポーツランドみやざきで、プロ野球選手とまったく同じ環境を一般の方々に楽しんでもらえるよう準備した。今まで体験した事のない草野球を通して、もっと宮崎県を知って頂きたい。アラタナはそういう思いで「すごい草野球」をスタートします」としている。

15 株式会社ハニカムのホームページ(<http://fatale.honeyee.com/>)を参照

16 「すごい草野球」のホームページ(<http://www.aratana.jp/sugoiabaseball/>)を参照。

V 経営理念としての地域における雇用創出

1 事業拠点

アラタナは、「宮崎に1000人の雇用をつくる」を経営理念とする。この経営理念は、濱渦自身の実体験に根差す。母校である国立都城工業高等専門学校は、卒業後、同級生や仲間の多くが、宮崎県外のメーカー等に就職する。濱渦自身も、宮崎県外の企業に就職した後、故郷・宮崎に戻り、起業家としての事業に取り組むこととなった。宮崎県外に就職した人材の雇用の受け皿としたいという思いを創業時から持っていたという(立命館大学産学協同アントレプレナー教育フォーラム2013講演より)。アラタナにおける創業の地、宮崎へのこだわりには、第1に、創業者の地域へのこだわりがある。

第2に、事業所の賃料、平均賃金等、会社を経営する上での宮崎県におけるビジネスコストの低さ、また、通勤時間の短さや豊かな自然等、雇用者に提供できる生活の質があらう。「社員の多くが、自転車などで通勤し、オフィスの賃料は、東京の数分の一(立命館大学産学協同アントレプレナー教育フォーラム2013講演より)」と濱渦は説明する。

最後に、ECの事業特性がある。アラタナでは、マーケティング、営業のベースとして、基本的なサービスについて、無料のトライアル期間を設ける、また、比較的リーズナブルな価格で提供し、さらに高度な機能や特別な機能については、別途料金を課金する仕組みを採っている。新規のサービスにトライアル期間を設けることで、そのサービスの利用者を潜在顧客として顕在化させることが可能である。これによって、マーケティングコストを抑えることができると共に、宮崎県という地方から、全国にマーケティングを行うことが可能となる。濱渦は、創業当初から、「ITを活用するEC事業であれば、過疎化が進む宮崎県においても、他の地域の企業と対等に競争することができる(立命館大学産学協同アントレプレナー教育フォーラム2013講演より)」と考えていたという。

2 雇用拡大

地域における雇用拡大において、まず、アラタナの事業領域であるECの市場規模、成長ポテンシャルを上げることができる。経済産業省編(2013)によると、2012年の我が国BtoC-ECの市場規模は、9兆5,130億円、2011年と比べて12.5%増と増加、また、広義のBtoB-ECの市場規模は、2012年で、262兆540億円に上る。ECは、規模の大きさと共に、増大しつつある成長ポテンシャルの高い市場であり、雇用余地の大きい事業領域と言える。さらに、アラタナの主力事業であるネットショップのデザイン、システム構築、運用は、事業自体が草創期であり、仕組みや基盤も自ら切り開く必要がある。また、自動化が難しく、細部に人の手を介す必要がある労働力集約的な事業領域であると、濱渦は、アラタナにおける雇用拡大の可能性を確信している(立命

館大学産学協同アントレプレナー教育フォーラム 2013 講演より)。アラタナは、2015 年度、株式公開を目指すとしている。

謝辞

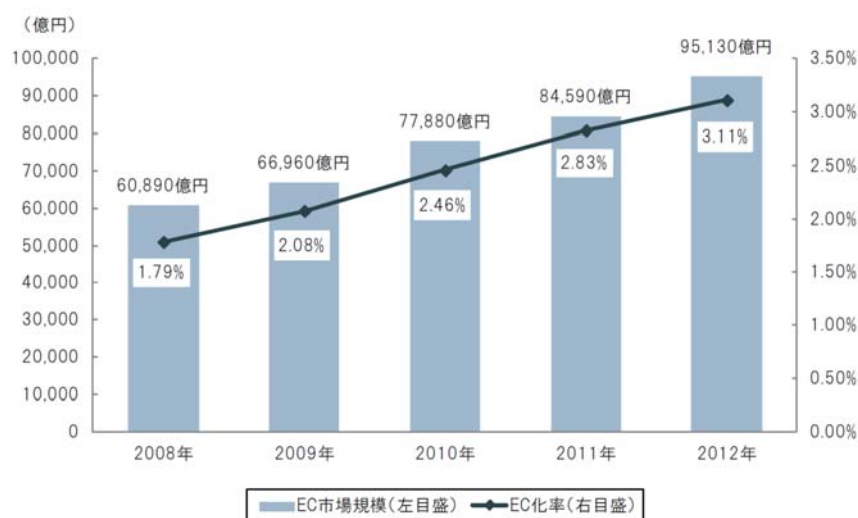
本ケースは、立命館大学産学協同アントレプレナー教育フォーラム 2013 における株式会社アラタナの濱渦伸次社長の講演をベースに作成したものである。また、本事例研究作成にあたっては、資料の提供、及び、追加のインタビューにご協力頂いた。濱渦伸次社長はじめ、株式会社アラタナの関係者に対し、特にここに記して謝意を表する。

図表 1 株式会社アラタナの概要

会社名	株式会社アラタナ (ARATANA inc.)
設立日	2007 年 5 月 1 日
従業員数	95 名(契約社員, アルバイトを含む. 2013 年 9 月付け) 役員 5 名 正社員 80 名 (内 2 名は執行役員) 契約社員 5 名 アルバイト 5 名
資本金	資本金 : 282,735,000 円 資本準備金 : 252,735,000 円
役員	代表取締役 社長 : 濱渦 伸次 専務取締役 最高技術責任者 : 穂満 一成 取締役 最高執行責任者 : 山本 稔 取締役 最高財務責任者 : 井上 宗寛 (公認会計士) 取締役 最高情報セキュリティ責任者 : 松野 真一 執行役員 サポート本部 統括本部長 : 土屋 有 執行役員 営業本部 統括本部長 : 松清 健一
所在地	【宮崎本社】 〒880-0811 宮崎県宮崎市錦町 1 番 10 号宮崎グリーンスフィア壱番館 5 階 【福岡支社 : アラタナ福岡研究所】 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1 丁目 13-26 福岡中央ビル 6F

出所 : 株式会社アラタナのホームページより再作成

図表 2 我が国 BtoC - EC 市場規模の推移



出所：経済産業省編(2013)

注：EC 化率は、EC 以外の電話、FAX、E メール、相対（対面）等も含めた全ての商取引金額（商取引市場規模）に対する EC 市場規模の割合(経済産業省、2013)

図表 3 株式会社アラタナの主要事業



出所：株式会社アラタナのホームページ(<http://www.aratana.jp/>)

図表 4 株式会社アラタナの沿革 I

2007 年 5 月	宮崎県宮崎市にて株式会社アラタナ設立（社長の自宅に兼オフィスとして設立）
2007 年 6 月	新オフィスが完成し、「宮崎市橋通東三丁目 3 番 12 号ポールスタービル 6 階」に移転
2007 年 7 月	宮崎市内のお客様向けに「CAGOLAB.」のプレ提供開始
2007 年 8 月	EC-CUBE をベースとしたネットショップ構築パッケージ「CAGOLAB.」を正式リリース。初期費用 0 円、月額 3 プラン（5800 円、9800 円、15800 円+ロイヤリティ(いずれも税抜)）。同時に撮影代行サービス（当時最安値 1 カット 315 円）をリリース
2007 年 12 月	資本金を 1,000 万円に増資
2008 年 1 月	運営代行、ネットショップ関連アプリケーション提供などの事業を開始
2008 年 2 月	(有)セルグッツ、(有)枝元商店、(有)川野海産、(株)アラタナの 4 社で、合同会社みやざき便.com を設立
2008 年 6 月	「CAGOLAB.」バージョン 2 をリリース
2008 年 10 月	EC-CUBE の学校開校 (http://www.eccube-school.jp)
2008 年 10 月	東京ビッグサイトにて ITPro EXPO に初出展
2008 年 11 月	EC-CUBE インテグレートパートナー制度で、全国初となるプラチナパートナーに認定
2009 年 7 月	「CAGOLAB.」バージョン 3 をリリース
2010 年 2 月	資本金 2,000 万円の増資(増資後の資本金 3,000 万円)
2010 年 7 月	チャレンジ九州・中小企業ががんばれファンドを引受先とした 3,150 万円の第三者割当増資(資本金 4,575 万円、資本準備金 1,575 万円)
2010 年 10 月	東京事務所開設
2010 年 12 月	国内で初のリリースとなる Facebook 等ソーシャルネットワーク上でネットショップを開設できるアプリケーションソフト「SocilaGateWay」サービス提供開始
2011 年 1 月	「SocialGateWay」アプリ、フリー版とプロ版サービス提供開始
2011 年 3 月	Social Ad & Commerce Technology Fund、みやざき太陽チャレンジファンド、GMO ペイメントゲートウェイを引受先とした総額 6,195 万円の第三者割当増資(資本金 7,672 万 5 千円、資本準備金 4,672 万 5 千円の計 1 億 2,345 万円)
2011 年 6 月	「SketchPage」ベータ版サービス提供開始
2011 年 10 月	新オフィス完成。「宮崎市錦町 1-10 宮崎グリーンズフィア壱番館 5F」へ本社移転
2011 年 12 月	福岡事務所、アラタナ研究所を開設
2012 年 3 月	ジャフコを引受先とする 1 億円の第三者割当増資(資本金 1 億 2,677 万 5 千円、資本準備金 9,677 万 5 千円)
2012 年 4 月	「SketchPage」の楽天及び Yahoo など主要 EC モール向けパッケージ提供開始
2012 年 6 月	Facebook マーケティング支援プラットフォーム「Zeeble」サービス提供開始
2012 年 12 月	東京事務所閉鎖

図表 4 株式会社アラタナの沿革Ⅱ

2013 年 4 月	「SketchPage」利用顧客 1000 店舗突破
2013 年 7 月	CAGOLAB., バージョン 4 をリリース
2013 年 8 月	資本金を 2 億 1,777 万 5 千円に増資(資本準備金 1 億 8,777 万 5 千円)
2013 年 9 月	NTT ドコモ・ベンチャーズ, リブセンス, ジャフコ等を引受先とした総額 5 億円 4992 万円の第三者割当増資(資本金 2 億 8,273 万 5 千円, 資本準備金 2 億 5,273 万 5 千円)
2013 年 9 月	「SketchPage」利用顧客 2000 店舗突破
2013 年 10 月	地元活性化に向けた取組み草野球イベント企画開催サービス「すごい草野球」提供開始
2013 年 10 月	株式会社ハニカムをグループ化, メディア×eコマース事業を開始

出所：株式会社アラタナ編(2013C)より再作成

参考文献

株式会社アラタナ編(2013A)「株式会社アラタナ人員構成」

株式会社アラタナ編(2013B)「株式会社アラタナ組織図」

株式会社アラタナ編(2013C)「株式会社アラタナの沿革」

株式会社アラタナ編(2013D)「プレスリリース：アラタナ、総額約 5.5 億円の資金調達を実施 NTT ドコモ・ベンチャーズ、リブセンス、ジャフコなどから」

経済産業省編(2013)「平成 24 年度我が国情報経済社会における基盤整備(電子商取引に関する市場調査)報告書」

みやぎん経済研究所編(2011)「経営者に聞く：潰渦伸次氏-株式会社アラタナ代表取締役-」調査月報 9 月号, 17-20.

設問

- Q1. 経済産業省編(2013)等をもとに、これまでの EC 市場の発展過程について整理しなさい.
- Q2. アラタナの手掛ける「CAGOLAB.」「SketchPage」「Zeeble」の各ホームページを参照し、アラタナの事業展開について整理しなさい.
- Q3. 「宮崎に 1000 人の雇用をつくる」との経営理念について、アラタナの濱渦社長の考えを整理した上で、あなた自身の考えを述べなさい.
- Q4. あなたは、アラタナの目指す新たな EC サイトの責任者に抜擢されました. アラタナは、いかなる EC サイトを構築すべきか、濱渦社長へ提出する事業計画書を作成しなさい.